

第 9 期 YDEC ケーススタディ参加希望者募集のご案内

40 歳以下(YDEC 会員)限定

一般社団法人 日本ダイカスト協会
YDEC 運営部会長 細内 隼

ごあいさつ

YDEC は、ダイカスト及びそれに関連する業務に携わる若手エンジニアの技術的知識の習得と、課題解決スキルの向上を目的とし、過去 8 回のケーススタディを開催しております(下記参照)。第 1 期～第 8 期の活動では、現場現物の確認と分析の重要性、現象と理論の結びつきの見える化、真因の見極めとアプローチの有効性などの手法を、活発な討議を通じて学ぶことができ、参加者には大変好評でした。

第 9 回ケーススタディ開催が決まり、ここに参加希望者メンバーを募りたいと思います。YDEC 運営部会では、更にレベルアップするための改善を織り込みながらケーススタディを運営していきたいと思っておりますので、奮ってご参加ください。

表 過去の YDEC ケーススタディ活動実績(参考)

	活動期間	テーマ		
第 1 期	2007 年 4 月～2008 年 4 月	① 鑄巣	② 製品の歪・曲り	—
第 2 期	2009 年 1 月～2010 年 2 月	① 鑄巣	② 流動不良	—
第 3 期	2010 年 12 月～2012 年 2 月	① 気密不良	② 流動不良	③ 焼付き不良
第 4 期	2013 年 4 月～2014 年 6 月	① 気密不良	② 流動不良	
第 5 期	2016 年 4 月～2017 年 3 月	鑄巣、気密不良、欠け込み等 3 グループ		
第 6 期	2019 年 4 月～2020 年 3 月	鑄巣、欠けこみ、めっき不良等 3 グループ		
第 7 期	2021 年 6 月～2022 年 5 月	鑄巣、圧漏れ、湯回り不良、欠け込み		
第 8 期	2023 年 4 月～2024 年 3 月	鑄巣、めくれ、欠け込み、湯回り、変形、等		

1. 目的

ケーススタディでは、具体的な事例を題材にしたディスカッションを通じて、論理的アプローチとそれに関連した技術知識の取得を目的としています。

メンバー間や運営部会員とのディスカッションを通じ、ダイカストにおける問題点(現象)と科学的理論との結びつきを明確にするための手法を習得し、技術レベルの向上を図っていきます。

またメンバーの自主的な活動を主体とし、終了後も学んだことを各自の業務へ生かせるようになる事も目的としています。

2. 今回のテーマ

今回も前回の第 8 期と同様、募集テーマは特に決めません。参加者が解決したい不良(欠陥)が個々のテーマとなります。但し、課題となっている不良製品があることが前提となります。

3. 進め方の概略

- 1) 各自が不良の製品や事例(できるだけ詳しく)を持ち寄り、それぞれに対してケーススタディを進めます。製品は鑄造品全体が望ましいですが、顧客秘匿義務などで困難な場合、最小限必要な部分のみを切り出す等でも可とします。

- 2) メンバーを 3 名×3 グループ(計 9 名)とし、各自の製品を分析して原因ごとに分類します。原則 1 社 2 名までとします。参加者が持ち寄った不良製品に対し、各自でその不良をもとに科学的手法を習得しながらケーススタディを進めます。進めるにあたり、次の会合までに各自の課題(宿題)を必ず実行願います。
- 3) 原則としてミーティング形式で行います。より積極的かつ緻密なコミュニケーションを行うことが目的です。ただし、開催通知や宿題内容の進捗等の確認は、各回ごとにメールで行います。
- 4) ミーティングは、12 回を計画しています。活動期間は、約1年を予定します。
- 5) 活動期間中、メンバーは固定といたします。途中参加も認めておりません。両者間で十分な引継ぎが行われた場合に限り、同一社内でのメンバー交代を認めることとします。
- 6) 活動終了後の報告会には、メンバーの上司 1 名に限り、参加を認めます。

4. 日程計画 (予定)

現時点で、下表スケジュール案を考えております。種々の要因により変更することもあります。また、各グループ内で必要と認められた場合、別途ミーティング(Web 等)などを行うこともあります。

	2025年度	内 容
第1回	4月10日	キックオフ、なぜなぜ分析の解説
第2回	4月24日	設計指針の技術講座開催
第3回	5月27日	不具合要因の推定(なぜなぜ分析)
第4回	6月26日	仮説と対策の立案(仮)
第5回	7月28/29/30日の何れか	上野分析室での分析作業・討議
第6回	8月27日、28日(工場見学含む)	分析結果に対し、なぜなぜ分析
第7回	9月17日	仮説の立案、対策立案
(予備日)	(10月)	
第8回	11月28日	対策の効果確認、見直し
第9回	12月17日	中間報告
第10回	1月30日	対策の効果確認
第11回	2月27日	対策結果のまとめ
第12回	3月13日	成果発表会

5. 参加資格

- ・ パソコン(パワーポイント、エクセル、ワード)を使った資料作成可能で、メールの送受信ができる方。Web 会議 (Teams, Zoom 等) の経験有ることが望ましい。
- ・ ダイカストの基礎的な知識を有し、ダイカストの実務経験が1年以上あり、現在困っている不良や問題点を「必ず解決したい!」、という熱意のある方。
- ・ 約1年間の期間を通じて参加可能な方

6. 参加費

- ・ 27,500円(税込み)
YDEC 研修会(工場見学・合宿等)や YDEC 講演会・懇談会への参加は、別途費用が発生します。

7. その他

- ・ 応募状況によっては参加お断りをする場合がございます。
- ・ 参加者全員に、守秘義務が発生することをご承知おきください。メンバー間「以外」の発表の場では、各社で合意した範囲での内容と致します。
- ・ キックオフおよび会合については東京で開催します。他の YDEC の講座にあわせて開催する場合は、その開催地で開催することとします。

参加申込締切 2025/3/14(金)

お問い合わせ先: 協会事務局 金内 TEL 03-3434-1885 kaneuchi@diecasting.or.jp

第9期ケーススタディ 参加申込書

この度、ケーススタディ参加希望者3グループ9名（1社2名以内）の募集をいたします。グループ編成を行い、キックオフ（2025年4月10日）の開催にて第9期ケーススタディがスタートします。なお、参加希望者は、下記の質問項目に回答し、3月14日（金）までに電子メールにて事務局（下記メールアドレス）に送信願います。グループ編成後、参加の可否を連絡しますので、ご連絡後に参加費をお振込み下さい。

名前			
会社名			
部署名			
個人へ連絡可能なメールアドレス			
ダイカスト実務経験年数	年	QC活動経験年数	年
募集案内7項記載の守秘義務を順守する（合意の場合右欄へ○を記入）			

ケーススタディを行うに当たり、不良の製品と現在お持ちのデータなどを書ける範囲で具体的に記載ください。

<p>例1) 不良内容：加工面の巣 ①製品名②不良率③X線写真④発生部位の写真⑤客先スペックなど</p> <p>例2) 不良内容：未充填不良 ①エンジンブロック②不良率10%③写真1~5④ボス部湯回り不良 ⑤強度、歪み、漏れ等あり(具体的数値・・・・・・・・。)</p>
